

事業者等向け児童発達支援事業所評価表の集計結果(公表)

公表日 2024年3月19日

アンケート実施期間

事業所名 さわやか愛の家 ひた館

対象職員数: 5 名 回収数: 5 名 回収率: 100.0%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善点	改善に向けた具体的な取り組み
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	2	1	2	利用者が増えた事もあり、転倒や接触したりといった危険性を考慮していく必要がある。	余分なものを整理整頓し、必要なスペース確保に努めて参ります。適宜必要な環境調整に努めて参ります。
	2	職員の配置数は適切であるか		2	3	あと数名スタッフがいると、専門職員が個別介入しやすい。前年度に比べて利用児童が増えた為、職員がもう少し増えると良いと感じる	職員数と児童の人数、特性等を考慮し、必要に応じて人員確保を図って参ります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	2	未就学児には階段が少し高い	現在2階を使用する事はなく、今後も基本的に1階を使用するようにして参ります。使用する場合は、職員がつく事はもちろん注意喚起等の張り紙等の環境調整を
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	2	1	2	意見交換は行えている為、振り返りの時間をもう少し取れるとよい	業務改善に関して意見交換を行うだけではなく、振り返りの時間も設けて参ります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	3	0	アンケートにより保護者の意向は把握しており、業務改善に向けて取り組んでいる	新規のご利用児童が増えてきている為、特に今回の保護者の意向を業務改善に繋がられるように意見交換の時間を増やして参ります。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1	1	公開しているので、スタッフ全員への周知を行えると良い	ホームページで公開しているので、再度全職員に周知を行って参ります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	3	外部評価が行っていない。	第三者による外部評価を行って参ります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1		会社全体では毎月あるが、事業所内での研修が少ない	月に1回は必ず、研修を行っておりますが、より支援に直結しやすい内容の研修を盛り込んで参ります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画を作成しているか	5			適宜アセスメントを行いながら、職員間で話し合いを行った上で計画書作成を行っている。	今後も職員間での情報共有を行い、児童発達支援計画の作成に努めて参ります。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	1	2	観察を中心としたアセスメントは行っている。	評価方法の見直し、評価ツールの検討を行って参ります。
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	2		職員間での話し合いの時間を通して、具体的な支援内容の設定は出来ている	ガイドラインに沿って具体的な支援内容を設定して参ります。

	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	2		計画に沿った支援が行われているか確認する時間を設けるようにしているが、必ずしも行えない場合がある	計画内容を振り返る機会をミーティング時に増やして参ります。
適切な支援の提供	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			担当制で立案している為、内容把握していても、目的を十分に理解できない場合も時折見られる。	立案方法の検討を今後も行っていく。職員の偏りが無いように分担していきます。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			担当者が工夫しており、毎回違う内容の活動を提供出来ている。	これからも引き続き、行って参ります。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	5			状況に合わせて、個別か集団が良いか適宜職員間で話し合いながら計画書作成が行えている。	これからも引き続き、行って参ります。
	16	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	4		必ずとは言えない面がある	朝礼時、ミーティングの時間を利用して、毎回行うようにしていく
	17	支援終了後には、職員間で必ず、打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	1	3	1	必ずとは言えない面がある 振り返りの時間が限られている	終礼時、ミーティングの時間を利用して、毎回行うようにして参ります。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1		記録は行えている。支援の検証、改善に向けての話し合いがその都度出来ない場合が時折見られる。	その日のうちに検証が行えるように業務改善を図って参ります。
	19	定期的にモニタリングを行わない、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1		適宜モニタリングは行っている。	今後も定期的に計画書の見直しを行って参ります。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	5			管理者、児発管が中心に参加している。	必要に応じて、機能訓練指導員や保育士等の専門職が参加し多くの意見交換が行える方法を検討していく。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	2		子ども部会で子育て支援センターの方との意見交換は行っているが、事業所単位では行っていない。	必要に応じて支援会議を開催し、適宜関係機関の職員に出席して頂けるように声かけを行って参ります。
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		1	4	現在、医療的ケア児がいない	現在、対象となる医療的ケア児のご利用はありませんが、自立支援協議会等を通し、情報共有に努めて参ります。
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力機関等との連絡体制を整えているか			5	現在、医療的ケア児がいない	今後受け入れる場合は主治医や協力機関との連絡体制を整えて参ります。
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	2	1	現在十分に行えていない	現在、移行されるご利用児が少なく機会も少ないですが、今後も積極的に会議への参加を行って参ります。
	25	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	1	2	現在十分に行えていない	現在、移行されるご利用児が少なく機会も少ないですが、今後も積極的に会議への参加を行って参ります。
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	1	3	研修を受ける機会が取りにくい	今後、他施設との連携を図り、意見交換、情報共有を行って参ります。

関係機関や保護者との連携	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			5	活動の機会がほとんどない	自立支援協議会への参加を積極的にいながら、地域での障がいの子どもの関わりの機会を増やして参ります。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4		1	管理者が中心に参加している	継続して参ります。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1		送迎時に保護者にその日の様子や支援の様子等を伝達している	引き続き、保護者との共通理解に努めて参ります。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		1	4	現在、相談等適宜行っているが、ペアレントトレーニングまで行っているかは分からない	家族支援が行えるように、ペアレントトレーニング等の支援を検討して参ります。
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1	1	管理者が中心に行っている。	規定を読む機会を設けていきます。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3	2		支援内容の説明は計画書に沿って時間をかけて説明を行っている。	児童発達支援ガイドラインの共通理解に今後も務めて参ります。
	33	保護者からの子育ての悩み等に関する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	3		適宜保護者と話しながら、助言等を行っている。	継続して支援を行って参ります。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	1	現在は行っていない。	今年度内に実施予定としております。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	2		申し入れに対して、適宜環境整備や支援の工夫は行っている	引き続き対応して参ります。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	3		事業所の通信を発行し、情報発信を行っている。ただし、毎月の発行が行っていない。	引き続き、情報発信を行って参ります。

	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4		1	児童が振れる可能性がある場所への個人情報の記載された紙を置かないように気を付ける必要がある。	引き続き、個人情報の管理に努め、環境調整を行って参ります。
	38	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1		視覚的なアプローチ方法など適宜提案はしているが、子どもと親の意思疎通の配慮が十分に行えているかは分からない。	視覚ツールの使用等を適宜検討しながら、子どもと保護者との意思疎通に配慮して参ります。
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	3	そのような機会が取りにくい	自治会長とお話しし、イベント等の開催の提案を行っております。今後も地域貢献を目指して参ります。
	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	1	2	2	地震、洪水など適宜計画作成、訓練が行えている。実施内容は連絡帳、SNS、送迎時などで保護者へ伝達している。マニュアルの保護者への周知は完全に全員行えてはいない	保護者への情報伝達に力を入れていきます。
非常時の対応	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	2		適宜訓練は行えている。	今後も継続して参ります。
	42	事前に、予防接種やてんかん発作等子どもの状況を確認しているか		2	3	確認が取れていない場合がある	情報確認を徹底して参ります。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の診断書に基づく対応がされているか		2	3	アレルギーのある方のご利用が今のところない	情報確認を徹底して参ります。
非常時等の対応	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		2	3	ヒヤリハット事例はあるが、件数が少ない	ヒヤリハットが出やすい環境調整に努めて参ります。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2		会社全体での研修は行っている。事業所では少ない	継続して研修へ参加するとともに、事業所での回数を増やして参ります。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	1	1	契約時に管理者が説明をしている。	今後も説明を徹底して参ります。